

歴史民俗資料館及びふれあいルーム 内部評価結果 (施設所管課による評価)

【評価対象施設】 歴史民俗資料館・ふれあいルーム

【指定管理者名】 株式会社 アステム

【評価対象年度】 令和4年度

【施設所管課名】 産業・文化部 生涯学習課

業務内容についての評価

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止による施設の臨時休館や開館時間の短縮等は無かったことから、歴史民俗資料館・ふれあいルームのいずれも、来館者数・利用者数が前年度から大幅な増加に転じることができました。歴史民俗資料館においては、展示業務については春季展「慈眼寺と野崎まいるの歴史」、夏季企画展「大東市の水害と治水」、特別展「三好長慶と大東市の中世～飯盛城はその時～」、冬季展「ちょっとむかしの暮らし」を予定通り開催されました。また、展示関連事業として市内施設での出張展示、展示内容にあわせた講演会、ワークショップ、飯盛城跡現地見学会や三好長慶にちなんだ連歌会や茶会等を開催されました。

学芸員活動については今年度も参加人数を制限して活動を行い、特別展で展示するための飯盛山の模型を製作する「作り隊」、木綿畑の手入れ収穫と一般参加者の指導を行う「大東木綿隊」、だんじり関係古文書の翻刻を行う「古文書探し隊」、収蔵スペースの拡大と資料の効率的な活用を目的に収蔵庫の整理を行う「収蔵庫整理隊」の4つの取り組みを進められました。市民学芸員全体での例会も再開され、新型コロナウイルス感染症のために縮小していた活動を段階的に拡大させていくとともに、昨年に引き続き学芸員体験講座を年間通して開催し、新しい市民学芸員の養成に取り組まれました。

今後も、生涯学習課や様々な施設・団体と連携しながら、幅広い世代の市民に関心を持っていただくため、様々な地域・時代を取り上げた展示や講座等を企画・実施するとともに、市民参加型のワークショップ等の事業についても積極的に取り組まれることを期待します。

ふれあいルームにおいては、図書館や公民館との共催事業のほか、消防署と連携した救急救命講習を大人向け、乳幼児を持つ保護者向け、親子参加型等の様々な形で開催されるなど、生活や健康に密着した事業に取り組まれ、いずれも参加者から高評価を得ることができました。また、大学との提携をすすめ、四條畷学園大学、大阪産業大学との連携事業を実施されました。今後も利用者のニーズを的確に把握し、幅広い世代を対象にした体験事業や講座等に取り組まれることを期待します。市内小学校との連携事業としては、社会見学の受け入れや出張授業の実施を積極的にすすめられており、今年度は新しく堂山古墳群史跡広場を小学校の社会科見学の受け入れを行われ、冬季展示に多くの小学校が社会科見学で来館されたことを評価します。

施設維持保全業務や施設修繕については、仕様書にもとづき適正に実施されていました。建物の老朽化が進行しているため、修繕必要箇所の把握と迅速な復旧修繕を行うとともに、利用者に安全快適に使用していただけるよう備品等の日常的な点検についても遺漏なく行ってください。

利用者満足度について評価

利用者アンケートでは、来館者対応や施設の案内表示、事業内容等について全体的に高い評価を得ています。一方で、歴史民俗資料館の事業やふれあいルームの有料貸出については依然として認知度が低い状況です。

今後もリピーターに満足していただけるような質の高い事業を実施するとともに、館内掲示の強化や SNS 等を活用した情報発信により、施設の認知度の向上と新規利用者の増加に努めてください。

収支状況について評価

令和4年度の収入につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対策等による施設の臨時休館や開館時間の短縮等はなかったことから、利用料金収入や自動販売機手数料、駐車場利用料金が増加しました。支出については、ロシア・ウクライナ情勢の影響により、光熱費の高騰や最低賃金の上昇により警備費や清掃費の外部委託等の経費が増加し、室内の設定温度の徹底した管理を実施するなどの対策を実施し経費の節減に取り組んでいただきましたが、最終の収支は市からの光熱費の補填を考慮しても701千円の赤字となりました。

令和5年度も、光熱費等の物価上昇が予想され、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、魅力的な事業の実施により利用者の増加を図るとともに収支の改善にも努めてください。

総合評価

本市の文化・歴史に対する市民の誇りを醸成し、次世代に継承していくうえで、歴史民俗資料館の役割はきわめて重要です。令和4年度は、コロナ禍の状況による大きな制約は無くなりましたが、指定管理者がこれまで蓄積してきた豊富な経験とノウハウを活かし、幅広い世代を対象にした企画展・講座や市民学芸員活動、他施設・学校等との連携事業を実施されたほか、学校との連携を積極的に取り組まれたことを評価します。

令和3年度に飯盛城跡が国史跡に指定されたことや、多くのメディアにも紹介されたことにより、今後も多くの城郭ファンが来館するようになっていくことが予想されます。常設展示の定期的な更新や情報発信の強化により、リピーターだけでなく新規来館者にも満足していただけるよう努めてください。

また、ふれあいルームでは、創意工夫による自主事業を行った結果、参加者から高評価を得ることができました。今後も、生涯学習に対する市民のニーズの把握に努め、関係施設・団体とも連携しながら、幅広い世代に満足していただける魅力的な事業を展開されるとともに、SNS等を活用した情報発信を強化することにより、新規利用者の増加にも一層努めてください。